



あらかわ一義 市政だより そくせいかいね



=平成30年・第4回定例会=

平成31年1月発行 No.59

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。昨年は能登立国1300年、大きな節目の年でした。今年は2019年5月1日、約30年間続いた「平成」が終わり、新しい元号となる歴史的な年です。

新しい時代に向け“日々新た”な気持ちで活動してまいりますので、皆様には変わらぬ御指導を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



市長提案理由説明

▼平成30年12月3日、平成30年・第4回七尾市議会定例会が19日までの17日間を会期として開催されました。提案理由説明で市長は▼10月28日に「能登歴史公園センター」及び「のと里山里海ミュージアム」の完成式が、石川県知事はじめ関係者列席の下、行われたと報告。

世界農業遺産「能登の里山里海」をコンセプトに、豊かな能登半島の自然環境や風土、受け継がれてきた歴史や文化などを様々な角度から紹介し、改めてその魅力に触れ、故郷を愛する心を育てていただける施設となり、大変多くの来館者で賑わっているといたしました。また、今年は能登の国が立国してから1300年という大きな節目の年であり、当市が万葉のいにしえから人々が交流するまちであったように、今後とも、多くの方々がミュージアムを訪れ、能登の素晴らしさを体感していただける施設となるよう努めていきたいと、その思いを述べました。

▼第2次七尾市総合計画については、昨年7月以降、総合計画審議会にて審議を重ね、先般、計画案の答申があり本定例会に提出するとなりました。本計画は平成18年に制定された「市民の願い・七尾市民憲章」のまちづくりを基本理念とし「能登の未来を牽引し七色に輝く市民活動都市ななお」を目指す将来像として掲げたいたしました。

▼空調整備について、来年度中には全ての小中学校の普通教室を一括して整備する事としました。

▼当市の財政について、当市を襲った集中豪雨や台風など、予期せぬ自然災害への対応に多額の財政支出を余儀なくされ、平成31年度以降も、市税の減収や普通交付税の段階的な縮減など、歳入の減少が見込まれると共に、歳出においては、社会保障関係費の増大や、頻発する自然災害への対応に加え、消費税の引き上げも行われることから、これまで以上に厳しい財政運営が強いられるのは確実であると、その考えを示しました。

▼新年度の予算編成には将来にわたる財政負担の軽減を図るため、新たな行財政改革プランに基づき、保育園など民営化や事務事業の見直し、働き改革による業務の効率化等を積極的に推し進め、第2次七尾市総合計画に掲げる七尾の将来像ら向け、積極的に各施策に取り組む考えを示しました。

▼今定例会は、一般質問に12名が質問にたち、活発な議論が交わされました。



能登歴史公園センター
のと里山里海ミュージアム 完成式

第2次 七尾市総合計画 基本構想 (平成31年度～平成40年度)

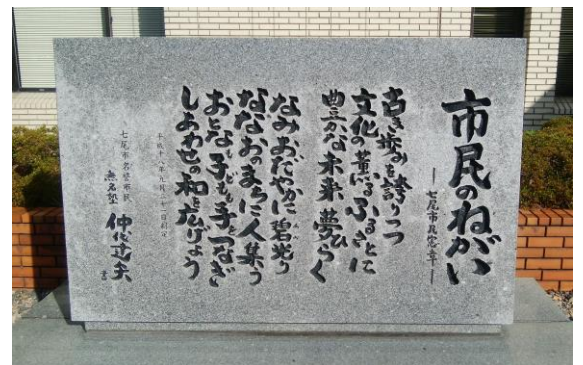
【まちづくりの基本理念】

七尾市は、2006年(平成18年)9月21日に「市民のねがい ―七尾市民憲章―」を制定しています。この市民のねがいには、ふるさとの文化や自然を大切にし、皆の幸せを願い、安心とやさしさに包まれた、夢あふれる未来に羽ばたく七尾市を実現するという市民みんなの想いがこめられています。

こうした想いは、時代に流される事のない不変不朽なものであり、第2次総合計画の基本理念として「市民のねがい ―七尾市民憲章―」を掲げることとします。

「市民のねがい ―七尾市民憲章―」

古き歩みを誇りつつ 文化の薫ふるさに
豊かな未来夢ひらく
なみおだやかに碧光り ななおのまちに人集う
おとなも子どもも手をつなぎ
しあわせの和を広げよう



【目指す将来像】

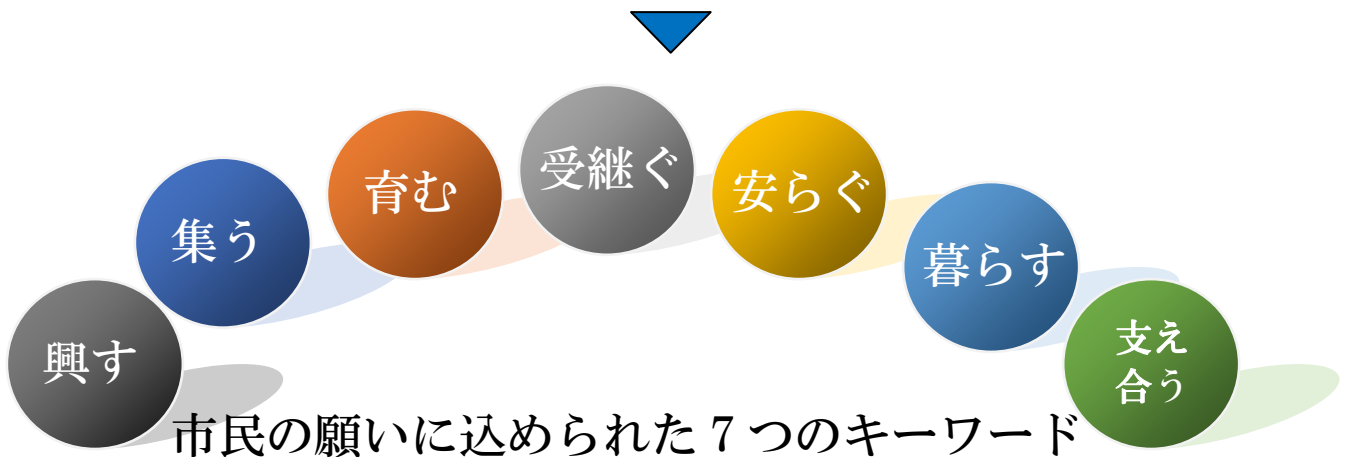
七尾市は、日本海を臨む天然の良港として古くから栄え、能登の政治・経済・文化の中心地として発展し、豊かな自然と古くから培われてきた風土・歴史・文化を受け継いできました。こうした能登の扇の要としての役割を担いつつ、七尾に生きることに誇りを持ち、大切な七尾を伝えながら、一人ひとりが希望、目標をもって、その実現に向けて行動することで、七色に輝く七尾の明るい未来を切り拓きます。

私たちは、能登を牽引する役割を果たすとともに、この貴重な財産を次の世代に引き継いでいく責任を持ち、市民一人ひとりが夢や希望をもって活躍できる都市の実現を目指すうえで、「能登の未来を牽引し 七色に輝く 市民活躍都市 ななお」という将来像を掲げます。

能登の未来を牽引し 七色に輝く

市民活躍都市 ななお





未来への懸け橋

上記は、「市民の願い 一七尾市民憲章」の七行詩の精神を「興す」、「集う」、「育む」、「受継ぐ」、「安らぐ」、「暮らす」、「支え合う」の7つのキーワードで表現し、それらを未来への懸け橋でつなげることで、目指す将来像を図式化したものです。

■平成30年度12月補正予算の概要

(1) 一般会計の補正予算額 19億348万1千円の増額



① 一般会計の補正予算の推移

	補正予算額	補正後予算額	対前年比
平成30年度	19億348万1千円	326億9,354万5千円	△5.0%
平成29年度	8億901万3千円	338億610万2千円	△2.7%
平成28年度	4億7,403万9千円	347億5,030万4千円	+6.1%

② 財源内訳

市債	1億7,270万円	県支出金	7,536万4千円
国庫支出金	9,778万3千円	繰入金	13億2,169万3千円
分担金	943万円	繰越金	2億1,379万3千円
諸収入	2,120万5千円		

(2) 一般会計の主要事業

(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
※債務負担行為	和倉温泉お祭り会館(仮称)整備事業 (和倉温泉観光会館の改修工事費及び展示工事費)	644,600	観光 交流課

※債務負担行為	戸籍住民基本台帳コンビニ交付事業 (住民票の写しや印鑑証明、戸籍証明書等のコンビニに係る経費)	55,000	市民課
障害者自立支援給付費・障害児給付費	障害者福祉サービスの利用実績による給付費の増額	42,839	福祉課
私立保育所施設整備	袖ヶ江みなとこども園の園舎改修に係る経費補助 内容・北川玄関の新設、床、畳張替え	3,640	子育て支援課
産地パワーアップ事業費	農事組合法人 SIMO 陣屋のライスセンター整備に係る補助 ① ライスセンター整備等にかかる助成 ② 産地パワーアップ事業(国事業)に取組む農業団体への助成	60,458	農林水産課
万行土地区画取得奨励事業費	サントウン万行の保留地取得に係る補助金の増額	12,000	都市建築課
繰上償還金 (長期債償還金)	過去に発行した銀行等引受債の繰上償還 内容・平成14年度～平成16年度借入分 件数・4金融機関 52件	1,072,305	企画財政課
小・中学校における普通教室の空調整備事業	<p>小学校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全10校の普通教室(特別支援教室含)108室 2. 和倉小学校及び能登島小学校の図書館(他の小学校は整備済) <p>中学校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 七尾中学校及び七尾東部中学校の普通教室33室(能登香島中学校及び中島中学校は整備済) <p>実施設計 ・ 今、議会後に速やかに発注予定 設備工事 ・ 来年6月以降順次発注 <1期工事> 6月—11月 <2期工事> 9月—2月</p> <p>■新しい学校を早めに整備し、平成31年度中に整備完了する予定。</p>	592,891	教育総務課

【債務負担行為】支払いが将来的に発生する見込みであるけれど、今年中には支払う予定がない



オフィシャルサイト

開設しています!



QRコード

QRコード
からどうぞ!

